

議員がきく!

市長所信表明の中身は？

問・市長選挙の結果をどうとらえているか

市長・新聞など報道では、市庁舎の建設、統合を焦点とした選挙と位置づけられた。私自身、非常に厳しい選挙であった。

問・八木市政の何を継承するのか

市長・今までの旧4町村のことを取り除いた融和を図っていきたい。今後も継承しながらいく。

問・事業・サービスの再検討はどうやるのか

市長・庁舎内で幹部を加えた評価チームを立ち上げる。また、いくつかのグループに分けて、サービス、事務事業を評価し合うのも一つ

の手ではないか。この時期については、4年間のうちにある程度の方向性を見出したい。

将来の市を見据えた上で、次世代に負担を残さないよう財政面で責任ある礎を築いていくための検証である。ただ単に福祉や暮らしをカットするという目線でもやるつもりはない。

問・市民の健康促進施策の中身は

市長・受診率を上げることがまず一番大切なこと。それを踏まえて、各健診の実施体制、市民にわかりやすい情報提供、受診しやすい環境づくり、効果的な健診体制の構築を見直したい。

問・統合庁舎建設の考え方は

市長・災害が発生した場合は、情報の収集伝達が重要になる。被災状況の調査報告であり、災害広報を行うこと、また防災上、緊急に整備すべき体制や施設の準備をしなければならぬ。現在、日常業務に必要な資料は各庁舎に分散している。判断に必要な情報が分散しているのは、災害発生時の復旧に対して大きな障害になる。今回の庁舎建設によって、その問題を解決できる。

問・予算編成の仕方は

市長・予算の関係は、市としてどのような方向性を見出していくのか。縦割りではなく、全職員として同じ方向に向かって進んでいく

このことは就任してすぐに幹部に伝えてある。

問・4年間で財政規模をどこまで削るか

市長・4年後の財政見通しが、財政計画をしっかりと厳しく計画して、わかりやすく示す方向で指示してある。個人的な考えではあるが、予算規模としては、津島市と同規模には最低限でもしなければならない。

